

目 次

我国に於ける低圧配線電及び負荷の実態	配電方式専門委員会 低圧配電系統分科会
委員会組織	(1)
第1章 緒 言	(3)
第2章 調 査 方 法	(3)
2-1 目 的	(3)
2-2 調査対象地域	(3)
2-3 調査期間	(5)
2-4 調査事項	(5)
2-5 測定方法	(5)
2-6 需用係数の算出方法	(5)
第3章 調 査 結 果 (第1部)	(7)
3-1 調査対象施設数	(7)
3-2 変圧器単位需用率	(7)
3-3 電柱単位需用率	(14)
3-4 変圧器単位負荷率	(19)
3-5 ブロック単位電灯動力負荷設備容量比	(30)
3-6 負 荷 設 備 数	(30)
3-7 電柱単位最大負荷電流	(30)
3-8 低 圧 線 径 間 長	(36)
3-9 電柱単位引込線口数及び互長別口数	(36)
3-10 需用家当り分岐回路数	(40)
3-11 年間最大月使用電力量	(40)
第4章 調 査 結 果 (第2部)	(46)
4-1 電 柱 間 不 等 率	(46)
4-2 構成率と電柱間不等率	(60)
4-3 最大負荷と需用家軒数	(63)
4-4 負荷率と損失係数	(66)
4-5 平均値一覧表	(95)
第5章 電柱間不等率に関する考察	(97)
5-1 電柱間不等率近似実験式	(97)
5-2 近似実験式の選定	(98)
5-3 平均最大負荷による電柱間不等率	(101)
5-4 不等率の影響を与える主なファクター	(103)
附録Ⅰ 構成率と電柱間不等率	(104)
Ⅰ-1 共用負荷の電柱間不等率の算式	(104)
Ⅰ-2 共用負荷の不等率と構成率の試算	(105)
附録Ⅱ 負荷率と損失係数の関係を示す近似実験式	(107)
附録Ⅲ 負 荷 曲 線	(108)
Ⅲ-1 負荷曲線の例	(108)
Ⅲ-2 分類の考慮	(109)
提出資料一覧表	(112)
電気協同研究会最近の動き	(115)